



東京会工会だより

No.11

平成21年4月10日発行 東京会工会事務局 川崎市中原区上平間2079-1(ニッポー産業内) TEL044-544-0811

東京会工会の現状



東京会工会会長
荒 井 士 郎

(34年K卒)

A Q 東京会工会とは、どのような集まりなのですか？
福島県立会津工業高等学校（前身は、福島県立工業学校）を卒業し関東地区居住者の相互親睦を深め母校発展に何らかの形で寄与することを目的とした集まりです。

A Q 発足したのは、いつですか？

A Q 明治四十四年（一九一一年）です。以前は卒業生イコール東京会工会会員としていたが、平成十三年から任意加入とし、三千数百名の方々に参加、不参加の確認をさせていただき、約四五〇名の方々の参加を得ることが出来ました。

A Q 運営、維持管理はどうなっていますか？

A Q 自薦、他薦に依る顧問、執行役員のボランティア活動で維持されております。

A Q 運営費は、どうなつておりますか？
年会費二千円、寄付、催事はその都度の実費を頂いております。

A Q 年会費の主な使途は、どうなつていますか？
PRを兼ねた『会工会だより』の発行送附

A Q 催事の御案内郵送費

A Q 新卒業生に対する会存続理解としての記念品代

A Q 各地区会工会開催場所代（ふくしま会館）

A Q 事務所経費

A Q 会費納入状況は？

A Q 六割の方々の納入を頂いておりますが、もう一声欲しい所です。

A Q 善意に、お頼りするのみで、ただただ一人でも多くの方の納入をお願いするだけです。

A Q 過去に納入していないが今回催事に参加した場合、過去の分の扱いはどうですか？

A Q 仮説として自分が参加するときのみ会費を納入、参加しない時は未納入という形が出来るのではないか？

A Q あくまで性善説で各人の志に依る事だと思いますが、継続しての納入をお願いしたい。

A Q 現在、活動はどのようなことを実施されていますか？

A Q 平成になつてからは、昭和時代と大きく変わり多くの催事を開催し少しずつですが参加者が増しております。

A Q 総会、懇親会、地引き網、芋煮会、なし狩、ゴルフコンペ

A Q 各地区同窓会に参加（会津、郡山、東海、近畿）

A Q 新卒業生に記念品贈呈

A Q 記念樹として、母校に桜を植樹されました。

A Q 二〇一一年、東京会工会発足して百周年を迎えます。これを記念して母校敷地内に当初百本を計画しましたが狭隘の為六十二本植樹しました。

A Q 植樹の資金と養生は、どうなつていますか？

A Q 苗木は財団法人『日本花の会』を通し格安で、又、養生は、会津シルバーセンターに以来、順調に生長しております。資金は、桜基金を設け、一人

A Q 五千円以上をお願いし、賛同された方の芳名を刻し後世に名を残します。

A Q 過去に、東京会工会の名で母校に寄付された事はありますか？

A Q 同窓生としてそれぞれ寄付されたことはあります。これ打破し後輩に素晴らしい会であることを伝え継続の道を探りたいと思つております。会員各位におかれましては、親戚、知人など

A Q 子息にPRして頂きたく、又、会としては、卒業生はもちろん、在校生にも支持される会となるべく方向付けをし努力したいと思つております。

同窓会入会式に出席して



幹事長
五十嵐 昭夫
(35年A卒)

卒業おめでとうございます。

『健闘を稱える 青春の汗を流せ そして
いつまでも青春あれ』

ささやかな記念品のタオルを贈らせて
いただきます。

我が東京会工会は関東地区的同窓会の集
まりであり、年間行事として春には神奈川
茅ヶ崎海岸にて地引き網、六月上野精養軒
にて総会及び懇親会、九月千葉県鎌ヶ谷に
て梨狩り、東地区栃木市にてゴルフコンペ、
十月には多摩川べりで芋煮会、十一月西地
区富士山のふもと御殿場にてゴルフコンペ
等々の行事を行い、年代を超えた同窓生の
親睦を計っています。

また東京会工会一〇〇周年事業としてこ
の校舎敷地内に桜の苗木を六十二本植えさ
せて頂きました。何年か後にはみごとな桜
が校舎を包むことでしょう。

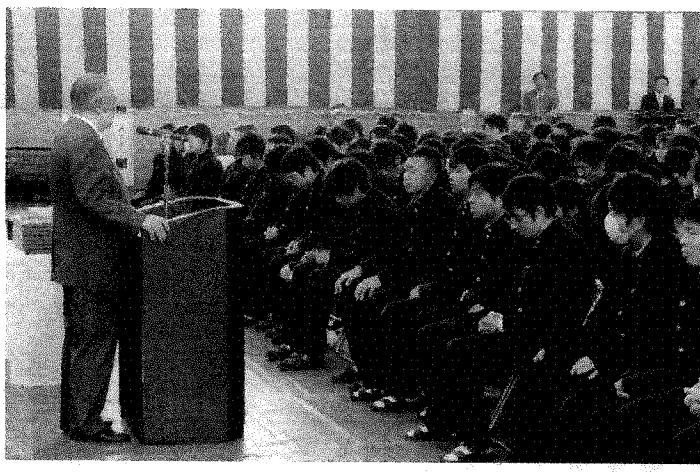
自分も振り返れば、今からちょうど五十
年前の三月卒業し、吹雪しきる中の会津若
松駅を蒸気機関車に乗つて就職した一人で
す。思い起せば時代の流れによって色ん
な事がありましたがこの会津魂、什の掟
(成らぬものは、成らぬ)伝統を誇る会津
工業高校で学んだという誇りをもつて頑
張つてきました。

いつも同窓生先輩は皆さんを見守つてい
ます。自分が一級建築士の受験で苦労して
いるとき、普段は無口な先輩が、『五十嵐
一級建築士が合格しなければフトンまとめ
て会津に帰るんだな』と言われた一言で燃
えました。今、自分があるのも、その一言
が今だに残っているといつても過言ではあ
りません。

同窓生とは先輩、後輩とはそんな絆で結
ばれているんです。これから先何事も前向
きの姿勢で進んで下さい。

時が移り生活と心に少しでも余裕ができ
ましたら故郷を思い出して東京会工会に顔
をだしてください。

頑張れ! 頑張れ! 健男児 栄えある
健児よ。



東京会工会の活動

一、平成二十年度会務報告

- ①四月下旬 東京会工会 会報発行(第10号)
- ②五月七日(土) (ふくしま会館)
- ③五月十七日(土) (神奈川県茅ヶ崎西浜海岸)
- ④五月二十一日(土) (郡山市)
- ⑤六月一日(日) (名古屋市)
- ⑥六月二十一日(土) (上野・精養軒)
- ⑦六月二十二日(日) (京都都市)
- ⑧七月二十一日(土) (ふくしま会館)
- ⑨九月六日(土) (千葉県鎌ヶ谷 大山園)
- ⑩九月十日(水) (栃木ケ丘GC)
- ⑪十月十九日(土) (会津若松市)

- ⑫十月十九日(日) (登戸多摩川河畔 大黒屋)
- ⑬十一月七日(金) (御殿場GC)
- ⑭十一月二十九日(土) (ふくしま会館)
- ⑮十二月二十九日(金) (御殿場GC)
- ⑯一月二十七日(金) (会津工業高等学校)
- ⑰二月二十七日(金) (会津工業高等学校)
- ⑱三月十四日(土) (ふくしま会館)
- ⑲三月二十六日(土) (登戸多摩川河畔 大黒屋)
- ⑳三月一日(月) 母校卒業式

二、平成二十一年度活動計画(案)

- ①四月下旬 『東京会工会だより第11号』 発行
- ②五月二十三日(土) 地引き網(茅ヶ崎西浜海岸)
- ③六月二十日(土) 東京会工会総会(精養軒)
- ④九月十二日(土) 梨狩り(千葉県鎌ヶ谷市大山園)
- ⑤九月九日(水) 東地区ゴルフコンペ(栃木ケ丘GC)
- ⑥十月十八日(日) 芋煮会(多摩川河畔 登戸)
- ⑦十一月六日(金) 西地区ゴルフコンペ(御殿場GC)
- ⑧一月二十三日(土) 顧問・幹事合同新年会
- ⑨二月二十六日(金) 母校卒業生に記念タオル贈呈
- ⑩三月一日(月) 母校卒業式
- ⑪同窓会総会
- ⑫岡島文弘副会長

左記の通り、恒例となりました行事を本
年も計画、実行する予定です。

平成二十一年度総会



平成二十一年六月二十一日(土)恒例の東京会工会総会が上野精養軒に於いて開催されました。出席者は、ご来賓、会員、同伴、合わせて一〇〇名となりました。又、余興として、喜多方市山都町出身のコロンビア所属歌手物江民夫さんの熱唱で盛会となり、楽しい親睦の会となりました。二十一年度総会は六月二十日(土)開催です。是非、ご出席下さい。お待ちしております。



大漁だよ！湘南海岸地引き網

齋藤博正
(37年K卒)

五月十七日(土)湘南茅ヶ崎西浜海岸にて、第五回東京会工会『地引き網』を開催しました。当日は、晴天に恵まれ、湘南の海は穏やかで絶好の地引き網日和の中、会員及び会員関係者そして、TOTO株式会社の会員やその友人・知人の方々を含め総勢六十九名の参加を頂きました。

七〇〇メートル沖合いに入れていた網を一斉に引き上げにかかり、皆で『ヨイシヨ、ヨイシヨ』と声を掛け合い網を浜辺に引き上げることができました。網の中には、湘南名物のシラス・サバ・アジ・イワシなどがぎっしり入つていて大漁でした。

額に汗した後は、いよいよ懇親会食となりテントの中で捕れたばかりのシラスをシヨウガ醤油をかけお腹いっぱい食べる事が出来ました。皆さん湘南名物の生シラスを思う存分食べ満足され、これだけでも地引き網開催の意義があるように思われます。アジ・サバ・イワシなどは刺身と焼き魚に、野菜のバーべキューもふくめてお酒・焼酎・ビールを飲み交わし取れたての魚の味を充分に味わいました。テーブルには弁当・オードブル・てんぷら・漬け



物・かわきものとたくさんの料理が並び美味しい食事で笑顔、笑顔の皆様でした。砂浜では、子供達の宝探し・スイカ割り、懇親会を終了しました。地引き網の醍醐味を満喫し、会員相互の親睦をおおいに図ることが出来ました。

子供(孫)や家族、友人同伴の茅ヶ崎海岸での地引き網も東京会工会開催のメイン行事になってきたように思います。参加者からも是非来年もやろうとの声があり年間行事予定に組み込んでおります。皆様のご参加を心よりお待ちしています。

会津人財ものづくり事業への取組

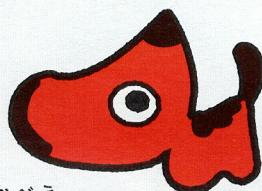


同窓会事務局
真田 郁夫
(57年E卒)

現在、会津地区は半導体関連品の製造出荷額において東北でも上位であり、高度な技術を持つ企業が集積している地区です。本校では企業の方々の多大なご協力により、『高度なものづくり技術の体験学習』が行われています。また“地元で優秀な技術者を育成したい”という強い思いから、昨年度より「会津ものづくり人財育成事業」が文部科学省と経済産業省から採択され、地域ぐるみで手を取り合って取り組んでいます。事業の具体的な内容は、昨年度の活動を例にすると次のようになります。

- ①外部講師による授業は技術指導（旋盤作業の指導：会津オリンパスなど）
- ②各種インターンシップ（就労体験）（短期、長期、内定後など）
- ③広報活動（セミコン出店、ものづくり学園祭、課題研究発表会など）
- ④小中学生へのものづくり教育（出前授業、学校開放講座など）
- ⑤高度ものづくり（企業技術者とのツールの発展、半導体製造体験など）

『SEMICON Japan』本校生、
堂々の発表



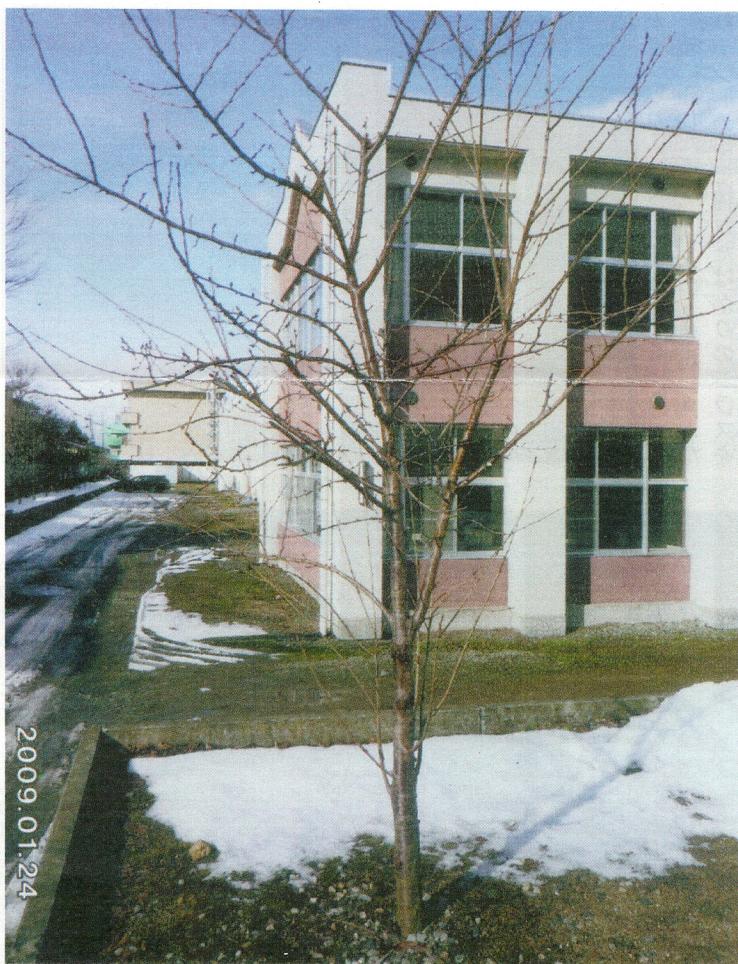
あかべえ

記念樹の報告

平成十七年三月より十九年三月まで六十
一本の桜木が植樹されました。

このイベントはSEMICON主催による“半導体に関する製造装置や材料の国際展示会”であり、今年で三十二回目を迎えます。また、イベントでは数多くの「まつたく新しい発想から生み出された製品」や「既製品に手を加え、改良した製品」が展示され、多くの企業の方々による意見交換が行われます。

当日は、多くの企業の方々がブースに足を運んで下さり、出展した作品について多くの完走や意見を頂きました。また、今回は全国から四校の高等専門学校が参加しており、生徒達は年齢が近い人との意見交換をすることで交流を図ることができました。更に、四日（木）には本校から二十九名喜多方工業から十二名の生徒達が会場に足を運び、世界規模の主点を見学していきました。



SEMICON Japan 2008

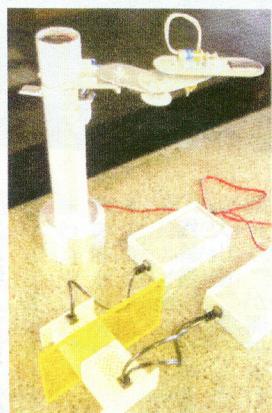
本校生、堂々の発表

12月3日(水)から5日(金)までの3日間、千葉県の幕張メッセにて行われた『SEMICON Japan 2008』に本校と喜多方工業高校の生徒が参加し、企業の方からアドバイスを頂きながら制作した様々な作品を『福島県半導体関連産業協議会』のブースにて出展しました。尚、昨年に引き続き、今回も本校生と喜工生のみが高校生としての出展となりました。

このイベントは SEMI 主催による“半導体に関する製造装置や材料の国際展示会”であり、今年で32回目を迎えます。また、イベントでは数多くの「全く新しい発想から生まれた製品」や「既製品に手を加え、改良した製品」が展示され、多くの企業の方々による意見交換が行われます。

当日は、多くの企業の方々がブースに足を運んで下さり、出展した作品について多くの感想や意見を頂きました。また、今回は全国から4校の高等専門学校が参加しており、生徒たちは年齢が近い人との意見交換をすることで交流を図ることができました。更に、4日(木)には本校から29名、喜多方工業から12名の生徒たちが会場に足を運び、世界規模の出展を見学していきました。

~展示品&当日の様子のスナップ~



仕切り（画像の中央下部）でコードが途切れているのに稼働できる「動力線非貫通型搬送ロボット」



溶かしたはんだが出る事で片手で扱える
「半手（ハンディ）ごて」



見学会に参加した生徒全員で記念撮影。



「手袋双着機」について解説中。



企業の方との名刺交換も行いました。

【追伸】以下の URL にて、株デジタイズドインフォメーション(DIGINFO)の撮影による展示品説明の動画を見ることができます。本校生がどのような発表を行ったのか、画質の良い動画で見ることができますので、是非、ご覧下さい。

URL(日本語版)………<http://www.diginfo.tv/2008/12/12/08-0667-m-jp.php>

〃 (English Ver.)………<http://www.diginfo.tv/2008/12/12/08-0667-m-en.php>

〃 (DIGINFO)………<http://www.diginfo.co.jp/>

芋 煮 会



芋煮会も、平成三年を初回とし今年で十七回、よくも継続できたと感心し、会員皆様の御協力の賜物感謝しております。開催実行に当たっては、いつも雨天が最大の心配事ですが幸いに大黒屋さんを使用できることがすくいであり過去四回ほど雨に降られたことがあつた。

四年ほど前から、品質、味、コスト等を考慮し食材の調達、下ごしらえ等全て事務局で準備し現場では、煮るだけとしていた。今年からはテーブル、青ビニールシート等も事務局で準備し、多くの参加者に喜んで頂ける様配慮しているつもりです。今回

は、かなり多くの方のお手伝いを得、本当に楽しい一日でした。
最近、多摩川河川敷でのバーベキュー等は禁止になつたそうですが、ある程度管理をまかされている大黒屋さんから、東京会工さんは後始末もしつかりしているので大丈夫との事で今後も継続できそうです。

今年も、多数のお集まりをお待ちしております。

(事務局)



梨とお酒と会津魂

猪 俣 和 男
(41年T卒)



『大山園』において、恒例の『東京会工會・梨狩り』が開催され、私も参加しました。参加人数は、子供家族等を含めて、三十七名の方々がこの暑い中、汗を流しながら参加されました。初めて『梨狩り』に参加したのは、一昨年。『大山園』へ行くには駅から左の道へ行くのを右へ行き、警察の案内を受けて時間に遅れ、お手伝いも出来なかつたのを思い出しました。

先輩同窓生等は、梨よりもお酒とノミニ

ケーションにより和気あいあいで話が弾み、少々の暑さは会津魂と忍耐により乗り切りました。なお『梨狩り』はもちろん食べ放題ですが、応援歌付で、今年からは梨のお土産付きとなりました。しかし、東京会工會も少子高齢化の時代の波にのつておりますので、開催日をあと一週間後の土曜日に移動すれば、暑さも防げ、参加者も増えかな? 頑張れ! 頑張れ! 健男兒! フーレーイ! フーレーイ! 会工! フレ、フレ、会工、今年も大勢の参加者を期待し、楽しみにしています。



第十九回 東関東ゴルフ大会

遠 藤 文 夫

(26年 E 卒)



第六回 西関東ゴルフ大会

伊 藤 孝 行

(38年 M 卒)



平成二十年九月十日(水)栃木ヶ丘ゴルフ俱楽部に於いて第十九回ゴルフ大会に参加、優勝したことは夢心地です。これには、伊藤幹事はじめ、関係者の皆様と多くのハンドicapショット等のご配慮により心から厚くお礼申し上げます。

八月から九月上旬までは天候不順で雨が多かったが、当時は、大会参加者の願いが通じたかは定かではないが、雲ひとつない秋晴れの絶好のゴルフ日和でした。よきパートナーの鵜川さん、中島さん、中丸さ

ん皆さんの素晴らしいドライバーショット、又、見事なアプローチショット等を拝見して何とかついて行こうと頑張りました。今回体調が良かつたのは、四年前に右上腕骨折治療の傷跡が創染症となり、三月に再手術をし、回復後スポーツクラブでトレーニングマシンの効果が出て、どうにかクラブを振ることができ、六月からはプレーを開け、今大会は、三回目のプレイですが体調もベストコンディションで望むことが出来たことです。反省としてダブルバーコートを叩いたことです。これは全てバンカーにつかまつた為で、この対策に努めていきます。体力の続く限り健康維持に留意し、プレーをして行きたいと思います。

次回の大会を楽しみにしていますので宜しくお願い致します。

平成二十年十一月七日(金)御殿場ゴルフ俱楽部で第六回西関東ゴルフ大会には連続参加となり、今回は体調もよく、栄えある優勝ということになりました。体力的に問題が出てくる年令になつきましたが、パートナーの皆さんと楽しくプレーした結果だと思います。

富士山を目の前に「富士に向かって打つ」ホールもあり目でも楽しめるコースであります。唯一の趣味でもあるゴルフ大好き人間として、プレーに於いては今後とも全力で頑張りたいと思います。

今回の大会は、私のメンバーコースでもあり有利だったように思います。次回は殆んどハンデキャップが無くなりますので苦戦することだと思います。

第二十回東関東ゴルフ大会は、九月九日(水)に栃木ヶ丘ゴルフ俱楽部、第七回西関東ゴルフ大会は、十一月六日(金)にそれぞれ予定されています。昨年以上に盛況にしたいと思います。

初参加の方も歓迎いたしますので一緒に楽しもうではありませんか。

平成20年度東京会工会総会出席者

日時：平成20年6月21日(土) 場所：上野精養軒

(敬称略)

[御来賓] 会津工業高校校長 渡邊 秀雄 近畿会工会会長 渡部 藤雄(31E)
 同窓会副会長 手代木利夫(28A) 東海会工会会長 星 芳雄(36E)
 同窓会幹事長 若狭 春生(38K) 郡山会工会会計 佐藤 亨(38C)
 同窓会事務局 真田 郁夫(57E)

〔会員〕

T16 押山登喜男	K25 渡部 稔	C25 加藤 昭八	M40 杉原 努	D40 板橋 順一
24 室井 忠六	28 五島 正凡	27 秋山 利喜	40 鈴木 邦男	A28 渡部 保男
25 板橋 桂	32 岸 宗男	29 岡島 文弘	40 戸野部 武彦	29 杉本 次雄
29 相田 一夫	33 五十嵐 清夫	29 酒井 丈夫	E 26 遠藤 文夫	32 金子 昌輝
29 室井 耕平	33 大竹 國正	30 国井 成夫	26 管家 忠平	32 宮森 健介
31 江川 尊	33 出羽 重夫	30 小町谷 昌宏	27 佐藤 達也	35 五十嵐 昭夫
34 猪股 英吉	33 玉川 進	31 秋山 利光	29 千葉 崑寿	36 伊藤 龍
34 小池 清	33 成田 正明	G 41 中島 政彦	29 坂内 良夫	37 芳賀 康三
34 佐々木 兼昭	34 荒井 士郎	M 23 諸橋 栄輔	31 金作 等	46 内芝 良吉
34 斎藤 義則	34 辺見 輝夫	24 児島 正俊	31 小桧山 忠恵	
34 佐藤 利光	35 宮下 久満	27 田場川 善雄	31 鈴木 昇	
34 鈴木 哲夫	36 渡辺 満	27 舟田 昭夫	32 岡村 進	
41 猪俣 和夫	37 斎藤 博正	34 江川 誠二	32 小桧山 雅吉	
L 16 佐原 実	43 山田 利廣	36 小桧山 光之	36 堀 龍	
21 鵜川平四郎	47 武藤 政明	38 佐藤 利秋	37 阿部 靖彦	
25 穴沢 三郎	C 16 渡部 上	16 長嶺 秋夫	37 小桧山 敏	37 大越 実
33 渡部 弘	17 渡部 幸四郎	39 古見 四友	37 星 陽一	
35 芳賀 勝義	20 木下 繁利	39 松田 和義	40 星 健一	
39 佐藤 功	24 蓬田 光雄	39 渡部 武弘	42 田中 義則	
K 21 樽川 義夫	25 石見 勝雄	40 桑原 勝義	43 内川	

出席者 100名
(来賓 7名含む)
(※同伴 2名含む)

32 29 27 26
T E M T

梅谷 大竹 本間

正三氏(平成二〇〇年八月他界)

(平成二〇〇年七月他界)

(平成二〇〇年一月他界)

(平成二〇〇年八月他界)

(平成二〇〇年九月他界)

(平成二〇〇年十月他界)

(平成二〇〇年十一月他界)

(平成二〇〇年十二月他界)

(平成二〇〇年一月他界)

(平成二〇〇年二月他界)

(平成二〇〇年三月他界)

(平成二〇〇年四月他界)

(平成二〇〇年五月他界)

(平成二〇〇年六月他界)

(平成二〇〇年七月他界)

(平成二〇〇年八月他界)

(平成二〇〇年九月他界)

(平成二〇〇年十月他界)

(平成二〇〇年十一月他界)

(平成二〇〇年十二月他界)

(平成二〇〇年一月他界)

(平成二〇〇年二月他界)

(平成二〇〇年三月他界)

(平成二〇〇年四月他界)

(平成二〇〇年五月他界)

(平成二〇〇年六月他界)

(平成二〇〇年七月他界)

(平成二〇〇年八月他界)

(平成二〇〇年九月他界)

(平成二〇〇年十月他界)

(平成二〇〇年十一月他界)

(平成二〇〇年十二月他界)

(平成二〇〇年一月他界)

(平成二〇〇年二月他界)

(平成二〇〇年三月他界)

(平成二〇〇年四月他界)

(平成二〇〇年五月他界)

(平成二〇〇年六月他界)

(平成二〇〇年七月他界)

(平成二〇〇年八月他界)

(平成二〇〇年九月他界)

(平成二〇〇年十月他界)

(平成二〇〇年十一月他界)

(平成二〇〇年十二月他界)

(平成二〇〇年一月他界)

(平成二〇〇年二月他界)

(平成二〇〇年三月他界)

(平成二〇〇年四月他界)

(平成二〇〇年五月他界)

(平成二〇〇年六月他界)

(平成二〇〇年七月他界)

(平成二〇〇年八月他界)

(平成二〇〇年九月他界)

(平成二〇〇年十月他界)

(平成二〇〇年十一月他界)

(平成二〇〇年十二月他界)

(平成二〇〇年一月他界)

(平成二〇〇年二月他界)

(平成二〇〇年三月他界)

(平成二〇〇年四月他界)

(平成二〇〇年五月他界)

(平成二〇〇年六月他界)

(平成二〇〇年七月他界)

(平成二〇〇年八月他界)

(平成二〇〇年九月他界)

(平成二〇〇年十月他界)

(平成二〇〇年十一月他界)

(平成二〇〇年十二月他界)

(平成二〇〇年一月他界)

(平成二〇〇年二月他界)

(平成二〇〇年三月他界)

(平成二〇〇年四月他界)

(平成二〇〇年五月他界)

(平成二〇〇年六月他界)

(平成二〇〇年七月他界)

(平成二〇〇年八月他界)

(平成二〇〇年九月他界)

(平成二〇〇年十月他界)

(平成二〇〇年十一月他界)

(平成二〇〇年十二月他界)

(平成二〇〇年一月他界)

(平成二〇〇年二月他界)

(平成二〇〇年三月他界)

(平成二〇〇年四月他界)

(平成二〇〇年五月他界)

(平成二〇〇年六月他界)

(平成二〇〇年七月他界)

(平成二〇〇年八月他界)

(平成二〇〇年九月他界)

(平成二〇〇年十月他界)

(平成二〇〇年十一月他界)

(平成二〇〇年十二月他界)

(平成二〇〇年一月他界)

(平成二〇〇年二月他界)

(平成二〇〇年三月他界)

(平成二〇〇年四月他界)

(平成二〇〇年五月他界)

(平成二〇〇年六月他界)

(平成二〇〇年七月他界)

(平成二〇〇年八月他界)

(平成二〇〇年九月他界)

(平成二〇〇年十月他界)

(平成二〇〇年十一月他界)

(平成二〇〇年十二月他界)

(平成二〇〇年一月他界)

(平成二〇〇年二月他界)

(平成二〇〇年三月他界)

(平成二〇〇年四月他界)

(平成二〇〇年五月他界)

(平成二〇〇年六月他界)

(平成二〇〇年七月他界)

(平成二〇〇年八月他界)

(平成二〇〇年九月他界)

(平成二〇〇年十月他界)

(平成二〇〇年十一月他界)

(平成二〇〇年十二月他界)

(平成二〇〇年一月他界)

(平成二〇〇年二月他界)

(平成二〇〇年三月他界)

(平成二〇〇年四月他界)

(平成二〇〇年五月他界)

(平成二〇〇年六月他界)

(平成二〇〇年七月他界)

(平成二〇〇年八月他界)

(平成二〇〇年九月他界)

(平成二〇〇年十月他界)

(平成二〇〇年十一月他界)

(平成二〇〇年十二月他界)

(平成二〇〇年一月他界)

(平成二〇〇年二月他界)

(平成二〇〇年三月他界)

(平成二〇〇年四月他界)

(平成二〇〇年五月他界)

(平成二〇〇年六月他界)

(平成二〇〇年七月他界)

(平成二〇〇年八月他界)

(平成二〇〇年九月他界)

(平成二〇〇年十月他界)

(平成二〇〇年十一月他界)

(平成二〇〇年十二月他界)

(平成二〇〇年一月他界)

(平成二〇〇年二月他界)

(平成二〇〇年三月他界)

(平成二〇〇年四月他界)

(平成二〇〇年五月他界)

(平成二〇〇年六月他界)

(平成二〇〇年七月他界)

(平成二〇〇年八月他界)

(平成二〇〇年九月他界)

(平成二〇〇年十月他界)

(平成二〇〇年十一月他界)

(平成二〇〇年十二月他界)

(平成二〇〇年一月他界)

(平成二〇〇年二月他界)

(平成二〇〇年三月他界)

(平成二〇〇年四月他界)

(平成二〇〇年五月他界)

(平成二〇〇年六月他界)

(平成二〇〇年七月他界)

(平成二〇〇年八月他界)

(平成二〇〇年九月他界)

(平成二〇〇年十月他界)

(平成二〇〇年十一月他界)

(平成二〇〇年十二月他界)

(平成二〇〇年一月他界)

(平成二〇〇年二月他界)

(平成二〇〇年三月他界)

(平成二〇〇年四月他界)

(平成二〇〇年五月他界)

(平成二〇〇年六月他界)

(平成二〇〇年七月他界)

(平成二〇〇年八月他界)

(平成二〇〇年九月他界)

(平成二〇〇年十月他界)

(平成二〇〇年十一月他界)

(平成二〇〇年十二月他界)

(平成二〇〇年一月他界)

(平成二〇〇年二月他界)

(平成二〇〇年三月他界)

(平成二〇〇年四月他界)

(平成二〇〇年五月他界)

(平成二〇〇年六月他界)

(平成二〇〇年七月他界)

(平成二〇〇年八月他界)

(平成二〇〇年九月他界)

(平成二〇〇年十月他界)

(平成二〇〇年十一月他界)

(平成二〇〇年十二月他界)

(平成二〇〇年一月他界)

(平成二〇〇年二月他界)

(平成二〇〇年三月他界)

(平成二〇〇年四月他界)

(平成二〇〇年五月他界)

(平成二〇〇年六月他界)

(平成二〇〇年七月他界)

(平成二〇〇年八月他界)

(平成二〇〇年九月他界)

(平成二〇〇年十月他界)

(平成二〇〇年十一月他界)

(平成二〇〇年十二月他界)

(平成二〇〇年一月他界)

(平成二〇〇年二月他界)

(平成二〇〇年三月他界)

(平成二〇〇年四月他界)

(平成二〇〇年五月他界)

(平成二〇〇年六月他界)

(平成二〇〇年七月他界)

(平成二〇〇年八月他界)

(平成二〇〇年九月他界)

(平成二〇〇年十月他界)

(平成二〇〇年十一月他界)

(平成二〇〇年十二